

公表

## 児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	オルオルハウス 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 5月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2(50%)
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 5月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちが安心して自分らしく楽しく過ごせる環境づくり。	園であった出来事の相談事やデイで楽しかったと思ってもらえるようにコミュニケーションを取り帰宅するまでにクールダウンして終わるように意識して支援しています。	児童に必要な体験を出来るようにイベント等を考え成長を促せるように支援します。
2	習慣化などの目的でルーティンを決めての個人課題取り組むプログラム	帰ってきてからの手洗いうがいや連絡帳の提出、個人課題→おやつの一連の流れが習慣化できるように職員間で相談し配置等も検討して支援しています。	児童の成長の様子を踏まえながら最善を考えより良い支援が出来るように職員一同検討し支援に当たります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルや活動報告の発信場所が保護者に伝わりにくい状況	保護者への情報発信を明確にする必要がある。	会報などの作成やSNSやホームページで発信していることを改めてお知らせする。

公表

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
オルオルハウス 児童発達支援		7年 5月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・十分な広さがある ・子どもたちが落ち着くスペースがあるところが良い。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・担当を決めて子ども達を見ています。担当が決まっている事で子どものことをしっかり見れる環境となっている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	・絵カードなど目で見て分かる工夫がされている。	建物の構造上段差あり、段差がある部分は柵など転倒防止の対策を行っている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日サービス終了後職員による清掃を行う。 ・こまめに消毒をしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・相談室など個別の部屋に対応するワンフロアで勉強、課題をするスペースと運動、遊びをするスペースに分かれている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	毎週ミーティングで共有	パートの方も含めてミーティングできる時間を確保したい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	定期的なミーティングで職員間で共有	パートの方も含めてミーティングできる時間を確保したい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	毎月個人面談を行い業務改善に努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		第三者による外部評価を検討します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・年間計画に基づき毎月研修を行う ・他事業所の職員と関わる際に意見交換が出来る	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・WEBで公表を行っている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1		職員にも分かりやすく情報を共有を行う。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	・児童の特性や注意事項など大事なことを伝えてくれています。	職員にも分かりやすく情報を共有を行う。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・定期的に会議で職員間で共有する	職員にも分かりやすく情報を共有を行う。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・児童の自主性を尊重して支援を行っています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・担当を決めて交代でプログラムの作成を行う。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・曜日を決めて担当者がリーダーになりプログラムを行う	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・支援前のミーティングは定着している。	・時間帯によってパートが参加できないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・サービス終了後にミーティングが出来ない時でも、気になる事などはすぐに報告したり、翌日に振り返りの時間を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・関係性の向上をを行い児童の気持ちを聞き取れるように努力しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	・必要に応じて担当の職員が同席し支援状況を伝える	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・デイの利用状況などは併用を進めている。 ・こども園など見学に行かせてもらい支援内容の共有を行う。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	・学校側の状況に合わせて情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		他所との交流は保護者の方の希望をお聞きしながら検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時今日の出来事や褒めてあげてほしいことや注意点などお伝えしています。保護者の方からお話がある時はお聞きして持ち帰るようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		・会報などでお伝えするように検討中
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者の方のご要望をお伺いしながら検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・インスタグラムやブログ等で活動を報告している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		保護者の方のご要望をお伺いしながら検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		職員にも分かりやすく情報を共有いたします。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		職員にも分かりやすく情報を共有いたします。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		保護者の方にも分かりやすく情報を共有できるように会報などを配布する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		